

■部会 Report

政策部会の活動紹介

政策部会長 松島 聡

日本風力開発株式会社 取締役

2013 年度活動報告

各 WG の活動概況を以下に報告します。

定例部会を第 2・4 水曜日の月 2 回実施、スピード感を持って事業環境の改善に対応した。

(1) FIT・長期導入目標 WG

新設・既設風車を対象とした、風力発電事業者にとって十分な条件での FIT 価格の適用について、関係各所へ要望活動を行った。また、風力発電の長期導入目標値を算出、取りまとめた。

(2) 法アセス WG

環境アセスメントに関する規模要件、審査期間、調査内容等について、事業者にとって効率的、効果的な環境アセスメントになるよう関係各所への要望活動を行うため、風力発電に係る環境影響評価の課題に対する検討委員会を設置、委員会にて提言書(中間報告)を取りまとめた。

(3) 規制緩和 WG

風力事業に関連する各法の開発要件・基準等の見直しの動向の把握と、関係各所との意見交換や情報提供を行った。航空障害灯、電気主任技術者、農地転用などでは活動の結果、規制緩和がなされた。

(4) 系統部会・政策部会合同 WG

系統部会と共同で、各一般電気事業者へ訪問、連系条件や連系容量等について要望活動を行った

(5) 電力システム改革 WG

2013 年度より新たに設置し、電力システム改革に関する情報収集・共有を行った

(6) 洋上風力コスト算定 TF

2013 年度に短期的に設置した。技術部会と共同で、風力発電事業者にとって十分な条件での洋上風力の価格算定を行い、価格の適用について、関係各所へ要望活動を行った。

(7) 風車安全対策 TF

2013 年度に短期的に設置した。
2013 年に相次いだ公衆安全に関わる事故

を受け、風力発電業界としての対策を取りまとめ、関係各所への対応を行った。

2014 年度活動計画

各 WG の活動計画を以下に報告します。

(1) FIT・長期導入目標 WG

足元の事業環境、中長期的な事業環境の課題を考慮のうえ、より良い事業環境の整備に努め、関係各所への積極的な情報提供を行う。

(2) 法アセス WG

環境アセスの迅速化、リプレイス時の環境アセスの合理化をテーマに、風力発電に係る環境影響評価の課題に対する検討委員会を 2014 年度も設置し、引き続き提言書を取り纏めるとともに、関係各所への要望活動を行う。

(3) 規制緩和 WG

洋上風力発電の実証プロジェクトおよび開発進行中プロジェクトの状況の把握に努めるとともに、洋上風力発電に係る対象法規制リストを作成し情報交換の場を設け課題の抽出をしていく。

農林水産省に関して農山漁村再生可能エネルギー法が機能するよう働きかけを行う。経済産業省および環境省に関しては環境アセス期間短縮を引き続き働きかける。その他、規制についての意見を各事業者から募り、対策を検討していく。

(4) 系統連系枠拡大 TF

系統部会・技術部会合同で系統連系拡大について技術的側面、経済的側面、法規制的側面から分析し系統連系に係る負担が偏在しないかたちで提言書を作成し、関係各所に情報提供を行う。

(5) 風車安全対策 TF

2014 年度も引き続き、短期的に設置する。風力発電業界としての公衆安全に関わる事故対策を策定し、業界全体の技術レベルの底上げを図るとともに関係各所へ対応を行う。

以上